

# きくもとパワー



令和4年度より札幌市研究実践園では、『市立幼稚園の今後の在り方に関する方針』に示されている5つの基本施策に関わる実践研究を推進します。白石区・厚別区では、基本施策2「札幌市の幼児教育の質の向上」を軸とし、副主題を設定しています。さらに、副主題に迫るために、本園の園児の実態等に即した重点を上げ、研究を進めてまいります。

研究通信「きくもとパワー」は、本園の実践研究の取組を分かりやすくお知らせしながら、幼児期の教育について皆様と共に考えるきっかけとなることを願い発行していきます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

## 令和4年度より、研究実践園の研究主題が新しくなります！

研究主題	質の高い幼児教育の実現に向けて ～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～
副主題	白石区／厚別区 ～遊びを通した幼児期の学びとは～
研究の視点	主体的、対話的で深い学びの充実



### きくすいもとまち幼稚園の現状

園児数の減少により、  
集団の中で人と関わる  
ことによる学ぶ機会が  
減少している

発達の個人差により、同  
年齢の集団形成に難し  
さを感じる場面がある

コロナ禍にあって、  
家庭生活、園生活と  
ともに、人との関わり  
が制限されている



### <きくすいもとまち幼稚園の研究の重点>

一人一人が集団の中でよさを発揮し、学びを深めるための環境づくりと援助  
～年齢の枠を越えた関わりを通して～



育ち合うための  
場面や状況作り

幼児の姿や変容を見取る



集団の中での  
深い学び



## 研究の方法

(1) 週案に異年齢の関わりを深める環境と幼児の学びの姿の「ビフォー&アフター」を記録し、話し合う。

これまでの教師の関わりや環境の構成と、幼児の姿を before に、異年齢の関わりを意識した改善点と幼児の変容や学びの姿を after に記入。



研究のエピソード (学年の枠を越えた関わりの中で学びを深めるために)	
★教師の関わり・環境の構成 before	★教師の関わり・環境の構成 after
* <u>幼児の姿</u>	* <u>幼児の姿</u> ○プラスの評価 ▲マイナスの評価

(2) 研究日には、実践事例 (ワークシート) をもとに、幼児の学びの姿について話し合う。(話し合いながら空欄部分を埋めていく)

事例で取り上げる遊びと、そこに関わりをもった他学年の遊びの様子などそのときの環境を写真とコメントで記録。

実践者の読み取りをもとに、他学年の学びの様子を話し合いながら、書き込んでいく。

(3) 区内の幼稚園、保育所、認定こども園、小学校に研究のまとめを発信していきます。

